

第1回防災避難訓練 校長講話

令和2年6月12日（金）

2011年（平成23年）3月11日（金）午後2時45分、みなさんのほとんどは小学1年生～3年生だったと思います。私たちの住む福島県・東北地方は「千年に一度」という大きな地震、東日本大震災・原発事故の甚大な被害を受けました。

最近では。南海トラフ地震という大きな地震が起きることが心配されています。地震をはじめとした自然災害は、いつ、どこで、どのように発生するかはわかりません。したがって、地震の発生を防ぐことはできないので、日頃からの備えによって、その被害をできる限り小さくすることが重要です。

本日の第1回防災避難訓練は、学校にいるときに地震が発生したという想定で行われたものですが、地震が学校にいるときに発生する確率は10%程度だと言われています。休日や深夜、あるいは自分一人で家にいるときに地震に遭遇したときに、自分の命を守るために、どのような行動をとったらいいかの判断できるようにすることが大切です。また、皆さんはもう高校生ですので、地域から保護されるだけの立場ではなく、地域を支える役割を果たすことも期待されています。自分たちよりも若い園児・児童を誘導して避難したり、高齢者の方に何かできることはないだろうかと考えたりすることも必要です。

本日の防災避難訓練を通して。学校や自宅などで地震に遭遇したときに気をつけることは何か、火災を含めた災害に備えてできることは何か、災害時に地域を支えるためにできることは何かを、みなさん一人一人がよくかんがえてください。